### 日本医労連保育対策委員会 2012年度 NO.3 2013/7//9

# 保育所ニュース

↓取り組み報告やチラシ・ニュース募集!

FAX:03-3875-6270 e-mailtn-ask@irouren.or.jp

## 第35回院內保育所会議開催

### 「目の前の子どもに最善の保育を」

規制改革会議では、ビルの4階以上に保育所を設置する場合、外階段の替わりに、避難ばしごや脱出シュートでも許可するという基準切り下げが出されています。



6月29日(土)~30日(日)、静岡 県熱海市で日本医労連第35回院内保育 所会議を開催しました。会場は昨年に引き続きハートピア熱海、学び・語り・交流して、充実した2日間を過ごしました。

29日、ジャーナリスト猪熊弘子さんから「保育をとりまく状況と保育所の危機管理を考える一子供の命を守るために私たちができることー」と題した講演を聞きました。猪熊さんは、保育施設での事故が増えていることをあげ、政府がすすめる「規制緩和」で子どもの命が危う

くなっていることを指摘しました。その上で、目の前にいる子どもに最善の保育をしたいと言う思いで、よりよい制度をつくっていくことが必要だと呼びかけました。

#### 参加者の声1

「当たり前のことの積み重ねが大切!」に、ウンウン。「お昼寝の時間は保育士の休み時間ではない!!」に、ドッキーン。気を引き締めて見直したいと思いました。

#### 参加者の声2

私たちの保育園は震災で全壊し、病院の多目的ホールを保育室として使っています。ゆとりがあるとは 言えない状況ですが、どんな場所でもよい保育を心がけるのが大切だと、改めて感じました。

講演の後、山田委員長より基調報告に続いて、保育所対策委員の武田さんより前日に行われた厚労省交渉の報告、岩手の小澤さんより東北地方協の保育所会議の報告、保育対策委員の原田さんより関西保育所会議の報告が行われました。会場からは京都の北垣さんから委託後の運動を報告していただきました。

委託されたけど、改善 に向け頑張っていま す。 北垣さん

院内保育所への補助を 増やすためにも運動が 必要です。武田さん が対象は、おやつ作りや 発達の学習、書道などエ 夫しました。原田さん



シニアソムリエの方を 呼んで、歌って踊って 学習しました。

## ペープサートの深さを知った!

29 日の実技研修は和気先生によるペープサート作りと演習をおこないました。ペープサート経験者は多かったのですが、和気先生の指導と実演に、「ペープサートの表現力、思っていた以上にある。ペープサートって深い!」と、参加者は感動していました。



### 参加者の声3

普段何気なくペープサートをしていましたが、持ち方、動かし方を気をつけるだけで見え方がすごく変わるんだなと思いました。とても楽しい実技研修でした。

### 参加者の声4

ペープサートは知っていましたが、こんなに奥が深いとは思いませんでした。和気先生のお人柄とお話のテクニックに引き込まれてしまいました。

## 保育所だけでなく、みんなで考えよう 子どものいのちを守る保育所に一分散会一

2日目に行われた分散会では、それぞれの保育所の状況や保育での課題が話し合われました。「保育士から見て発達が気になる子どもがいて発達相談をすすめたいが保護者への対応はどうしたらいいか」「病院の新築・移転が決まったが、保育所の場所や体制が決まらない」「保護者の長時間労働で、夜間保育の子と日勤保育の子が重複し、保育が追いつかない」などが出され、論議されました。全体会で山田保育所担当は「病院のリニューアル時期を迎え、院内保育所の存在意義を再認識させることが必要。子どもを守るためには、保護者を守る、そして保育所職員を守る。そのためには保育所職員と保護者と組合が一緒に声をあげていこう」とまとめました。

### 6月28日 厚労省交渉

### 「事業所内保育所(地域型保育)については、子ども子育て会議で検討中。」

保育所会議の前日、6月28日(金)「院内保育所の充実」に向けて厚労省交渉を実施しました。交渉には日本医労連保育対策委員と労働組合保育所担当等 16 人が参加、 厚労省側からは医政局嶋原係長以下 10 人が対応しました。出席者から、院内保育所の

今後についての質問に、「事業所内保育については、子ども子育て会議で検討中。地域の子どもを受け入れることで補助が入るようにしたい。」と回答しています。

